

## 〔益子町教育委員会活動状況評価報告書〕

(注) 評価様式 (評定はA～Dで行い、Dは改善方策を示す。)

### 〔教育行政全般〕

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
1 教育行政基本方針の策定	(1) 新教育基本法を踏まえ教育行政基本方針が策定されている。	A	毎年2月、定例教育委員会で「益子町教育行政基本方針」を策定している。	B	▲未達成の成果指標は予算を伴うものであり、指標の内容を再検討すべきではないか。
	(2) 教育行政基本方針を議会に公表している。	A	毎年3月の教育厚生常任委員会において説明している。		
	(3) 毎年度教育基本方針の内容を見直し、その成果を評価している。	C	平成27年度中に達成できなかった成果指標があった。		
2 定例教育委員会	(1) 定例教育委員会開催の告知をしている。	A	町内3カ所の告示板で告示を行うほか、広報ましこお知らせ版にて告知している。	A	
	(2) 会議では適切な意見交換が行われている。	A	委員長の進行により各委員から積極的に意見が出されている。		
	(3) 定例教育委員会には全員の教育委員が出席している。	A	定例教育委員会時に日程を調整し、全員出席している。		
	(4) 会議録が整理されている。	A	会議録を整備している。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
3 教育委員会の評価と結果公表	(1) 教育委員会の活動について評価を実施している。	A	平成20年度から活動状況点検と評価を実施している。	A	Q: 外部評価に対する意見はあったか。 A: 外部評価については特になかったが、自己評価では評価が厳しいのではという意見と、指標達成のために引き続き努力されたいとの意見があった。
	(2) 評価結果を公表している。	A	毎年3月議会で報告するほか、益子町HP上において公表している。		
4 教育委員が出席する行事	(1) 委員が出席する行事は、委員間で協議し、共通理解をしている。	A	定例委員会において、予定表に基づき行事日程を協議・理解している。	A	
	(2) 教育委員が出席する行事は関係委員が出席している。	A	欠席とならないよう、日程の調整をしている。		
5 教育委員研修	(1) 教育委員研修は芳賀管内連携して実施している。	A	教育事務所等を中心に連携・実施し参加している。	A	
	(2) 研修に教育委員が積極的に参加している。	B	都合上欠席する委員には、研修資料を事後配付し共通理解に努めている。		

〔 学校教育 〕

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
6 小学校外国語活動	(1) 年間計画・学習指導案に基づき、学級担任主導で毎時間ALTとのチームティーチングで推進している。	A	学習指導案に基づいて学級担任とALTが事前に確認を行い、学級担任が主導してチームティーチングを行うことができた。	A	○授業参観したが、ALTやTTの授業への取り組みがたいへん素晴らしかった。
	(2) 授業研究会、外国語活動研修会を行い、授業改善への取り組みを推進している。	A	授業研究会や外国語活動研修会の開催、ガイドブックの作成を行い、推進状況の確認と教師の指導力向上のための研修を行った。		
7 魅力ある学校づくり	(1) 小中学校が連携し、不登校を未然に防ぐことをねらいとした取組を推進している。	A	認め合いの場の設定や感動体験の共有により、帰属意識の高い学級づくりについて「学業指導」として全小中学校が推進する体制となった。	A	
	(2) 小中連絡協議会等に出席し、取組状況を確認したり、国や県との連絡調整を行っている。	A	教職員の研修の推進のための情報提供、小中連携のための場の設定等、学校の要望に対し適切な支援を行うことが出来た。		
8 特別支援教育	(1) 対象園児・児童生徒の様子を観察し、保護者と教育相談を行っている。	A	対象となる子どもの様子を観察し、教育相談を行った。学校、保健センターとの情報共有を密に行うことが出来た。	A	▲対象となる保護者や児童によって、対応方法の答えがそれぞれ異なるため、評価がAになるのは難しいこと

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
	(2) 能力に見合った適切な教育機関への就学指導を行っている。	B	対象となる子どもの保護者に対し、知能発達検査を実施し、客観指標をもとに就学相談を実施した。指標の採用により対象児童への指導方針も明確化することができた。		ではないかと思う。評価指標の設定や自己評価の方法を検討して欲しい。
	(3) 教育支援委員会を適宜開催している。	A	昨年の反省点を踏まえ、総括資料の様式や委員会の進行方法を変更し、実施した。		
9 備品管理	(1) 学校備品台帳のデータベース化を推進している。	C	新規購入物品についてデータ入力を行っている。	B	○昨年から進捗があったので、引き続き努力されたい。
	(2) 既存台帳の整理を随時行っている。	A	既存台帳内容の確認を学校ごとに実施し、事務局保管台帳の加除を行っている。		
10 生活適応指導教室の運営	(1) 学校生活適応指導教室の運営が円滑に行われている。	A	室長を中心に通級児童生徒に対してきめ細やかな指導助言に努め、充実した運営を行っている。	A	○継続していただきたい良い事業。ただし、無理をせず、生徒たちと一歩一歩進んでいって欲しい。
	(2) 通級児童生徒が在籍校へ復帰できるよう適切な指導助言を行っている。	A	今年度は通級生徒4名中1名が学校に完全復帰、3名が部分復帰できた。今後も学校と保護者との連携を深め、児童生徒が早期に在籍校に復帰できるよう促していく。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
1 1 中学校防災 機能強化事 業	(1) 学校現場へ工事内容の 説明を行っている。	A	工事の発注以前に 学校への説明を実施 した。	A	
	(2) 事業に必要な財源の確 保がされている。	A	国の補助金を活用 している。		
	(3) 計画通りの工期に従い 実施されている。	A	計画どおり実施さ れている。		
	(4) 工事に伴う生徒の安全 確保がなされている。	A	隔週開催されてい る工事打合せの中で、 生徒の安全確保をす るよう指示を行って いる。		
1 2 学校施設管 理	(1) 学校の実態を十分に把 握し、適切に学校施設の 維持管理を行っている。	B	学校の実態を把握 した上で、緊急性の 高いものから順次修 繕を行っている。	B	○安心・安全な教育 環境維持のため、 継続して努力され たい。
1 3 中学生海外 派遣	(1) 中学生海外派遣事業実 施委員会を開催し、派遣 先やカリキュラムの検討 を行っている。	A	実施委員会で検討 を行ったほか、学校 交流のプログラムを 学校間で調整し、満 足度の高い派遣を実 施することができた。	A	○派遣事業は今後も 継続していただき たい。  ▲アクシデントもひ とつの研修になる とは思いますが、団員 とその保護者への フォローはしっかり 行ってほしい。
	(2) 派遣する中学生の事前 ・事後指導が円滑に行わ れている。	A	学校の協力を得て 事前・事後指導が実 施できた。		
	(3) 派遣中の情報収集、保 護者への情報提供が適切 に行われている。	B	本年度の派遣中、 ホームステイ先が急 遽変更になったため、 保護者への説明、ケ ア不足等を指摘され た。		
					意見：友好都市が本 年から1都市増え たが、双方と交流 することも検討し てはどうか。

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
14 奨学資金貸与	(1) 経済的に修学が困難かつ、修学の意欲のある者に奨学資金貸与制度の周知を行っている。	A	町内中学、郡内高校に申請書を配布するとともに、広報紙で制度の周知を行った。	B	▲努力が見られるが、評価と結びついていない。内容を検討して欲しい。
	(2) 奨学資金の未納者に対する追跡調査を行い、奨学資金の適正な管理を行っている。	D	本年度、追跡不能者が2名増加し、計3名となった。		
15 スクールバス運行	(1) スクールバスを円滑に運行している。	C	降雪時にバスが時間どおりに運行できなかった際に、保護者への連絡が十分でない学校があった。	B	▲緊急時の対応マニュアルを構築して欲しい。
16 学校給食	(1) 委託業者との連携を密にし、安全・安心な給食の提供を行っている。	A	毎日委託業者と打合せを行い、情報共有や共通認識をもつことにより円滑に給食を提供できた。	A	
	(2) 地元食材を活用し、地産地消に取り組み、安全・安心な食材の調達を行っている。	A	J Aと打合せをし、地元食材の優先的な使用に努めた。県とも連携し地元野菜の新しい流通経路開拓に努めた。また、食材の放射性物質検査を定期的に行い、食材の安全性を確認し、町ホームページや給食だよりで結果を公表している。		
	(3) アレルギーに配慮した給食の提供を行っている。	B	食物アレルギーを持つ児童生徒に対し面談等を行い、除去食の提供を適切に行った。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
16 学校給食	(4) 給食費の未納対策を行っている。	A	学校と連携して、訪問徴収等により未納解消に努めた。		

〔 生涯学習 〕

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
17 生涯学習並びに社会教育の充実	(1) いきいき講座の利用促進・自主教室の充実を図っている。	A	いきいき講座は町民編64講座、行政編84講座を開設。また自主教室は54教室開催し生涯学習の充実を図っている。	B	○男女共同参画の女性参画率が目標未達成とのことだが、実感としては上がっているように感じられる。今後も推進を図りたい。  ▲地区ぐるみ体育祭は住民が顔を合わせる良い機会となっているので、参加したら楽しいと感じられる集まりになるようにして欲しい。  意見：図書館の整備を前向きに検討して欲しい。専任職員がいない現状では、図書ボランティアがいなくなったら運営が出来なくなるのではないか。
	(2) 学校支援ボランティアやコーディネーター交流会等を通し学社連携・融合事業の推進を図っている。	B	ボランティア、コーディネーター、学校が一堂に会し情報交換を行った。		
	(3) 青少年教育並びに成人教育の推進を図っている。	B	青少年健全育成大会、男女共同参画の推進、女性団体の支援を行っている。また、青少年から高齢者まで各年代ごとに講座開設を行った。		
	(4) 地区ぐるみ活動等、地域コミュニティ活動の充実を図っている。	B	地区ぐるみ体育祭の開催、生涯学習推進協議会と連携した地域コミュニティの醸成を図った。		
	(5) 町民と協働し花で包まれたまちづくりを行っている。	A	大規模花畑や花いっぱいコンクール等を開催し、まちづくりを行っている。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
	(6) 図書の充実と図書ボランティアグループ支援を行い図書活動の推進を図っている。	B	新刊本や児童書購入により、図書の充実を図るとともに、月ごとに新刊本の情報を掲示し、利用者へお知らせした。また、ボランティアと協力連携し利用しやすい図書室づくりを行っている。		
18 文化関係事業 充実	(1) 文化遺産を活用した地域活性化事業を実施する。	A	文化財ガイド養成講座の実施や、地域の文化財を活用した「ましこ里山芸術祭」等を実施し、文化財の普及啓発につながる事業を実施している。また、歴史文化基本構想策定委員会を立ち上げ、文化財の総合的な把握を行うとともに、保存・活用していくための方針について検討している。	A	○ましこ里山芸術祭は参加者の満足度が高い事業なので、継続して行って欲しい。  ▲益子出身の若手音楽家の発表会は、たくさんの方に参加してもらえるよう、他の著名音楽家にも参加していただくなどの工夫をしてはどうか。
	(2) 芸術・文化の振興を図っている。	A	文化協会等文化団体の指導育成、少年少女合唱団の育成、文化祭、芸術祭の実施運営を行った。音楽祭は子供と大人の部に分け2回開催した。また、地元音楽家の演奏会や益子町出身の若手音楽家の発表会など、音楽を鑑賞いただく機会を設けた。		○町民会館の管理運営については、開館以来の大規模な修繕を行うことが出来たので、今後も適切な管理を行って欲しい。

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
	(3) 文化財の保護に努めている。	B	文化財保存事業の推進、文化財指定手続きの継続、文化財保護意識の啓発に努めている。		
	(4) 町民会館の管理運営及び受付業務を図っている。	B	利用者の安全確保、修繕工事の円滑な進捗、施設、機材のメンテナンスの徹底、利用者への適切な説明と適切な対応を図っている。		
19 社会体育事業 充実	(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援を図っている。	B	クラブと連携を図り、クラブのPRと事業の適正な執行に努めた。	B	▲今後も総合型地域スポーツクラブの会員を増加させるためPRに努められたい。  ○はが路ふれあいマラソンは満足度が非常に高い事業だが、参加者の要望は年々上昇するものであるため、今後とも改善に向けた取り組みを継続して欲しい。
	(2) 少年スポーツ教室を開催し、心身の向上を図っている。	A	受講者から満足度の高い評価を得ている。		
	(3) 体育施設の整備、適切な管理運営を図っている。	C	施設の老朽化が進んでおり、改修等が必要となっている。		
	(4) スポーツ団体の育成・支援を図っている。	B	スポーツ少年団、体育協会等の団体へ活動支援を行った。		
	(5) はが路ふれあいマラソンを開催を通し、地域住民のスポーツ参加意欲の向上と芳賀郡市のPRを図っている。	A	参加者から満足度の高い評価を得ている。		

※評価方法（評定）

- A 目標を大きく上回り優れている。
- B 目標を上回り良好であるが改善の余地がある。
- C 目標上にあり満足であるが改善すべき点がある。
- D 目標を下回り改善を要する。

◎評価のまとめ

<b>(1) 教育行政全般</b> ( 評価最頻値 : A )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①教育行政基本方針の策定について ②定例教育委員会の運営について	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①教育行政基本方針の成果指標の設定について	<b>改善策</b> ・予算が前提となる課題は、指標として適切ではなかったため、今後は慎重に指標を設定する。
<b>(2) 学校教育</b> ( 評価最頻値 : A )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①小学校外国語活動について ②生活適応指導教室の運営について ③学校給食について	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①スクールバスが遅延・運休する際の連絡体制について	<b>改善策</b> ・学校により判断基準が異なっているため、学校間で意見交換できる場を設定する。
<b>(3) 生涯学習</b> ( 評価最頻値 : B )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①文化遺産を活用した地域活性化事業について ②はが路ふれあいマラソンについて	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①地区ぐるみ体育祭について	<b>改善策</b> ・ブロックごとに、参加しやすい競技内容を検討する。

【全体を通しての意見】

施設管理、特に修繕を伴う項目において自己評価が低い傾向にあるが、町の予算には限りがあるため、これら全てを満足させるのは難しい。施設管理については、修繕等を要する箇所をきちんと把握することが重要であるので、その処置が完了しているか否かは自己評価と切り離して考え、施設管理の年次計画を作成して適切な予算獲得に努められたい。